

社会資本総合整備計画書【事後評価書】

新山口駅周辺における機能的な都市基盤が整い、発展していくまち

平成27年3月

山口県山口市

社会資本総合整備計画 【事後(中間)評価書】

平成27年3月24日

計画の名称	新山口駅周辺における機能的な都市基盤が整い、発展していくまち		
計画の期間	平成22年度～平成26年度(5年間)	交付対象	山口市
計画の目標	<p>新山口駅周辺は、山口県のほぼ中央に位置する交通の要衝、陸の玄関として、新山口駅の駅南地区を中心に広域的なエリアを管轄する事業所やホテル等の集積が進み、経済・産業部門における広域的な拠点性を高めています。一方で古くからの市街地である駅北地区は都市機能やにぎわいが不足しているほか、動線、乗り換え、案内機能、景観、南北の一体性の欠如、大規模遊休地等多くの課題が見受けられます。</p> <p>駅前広場をはじめとした都市基盤の整備を行うことにより、「山口らしさ」を考慮した市及び県の玄関としてふさわしい都市空間を創出するとともに、周辺地域の回遊性、交流に配慮した整備を行い、利用者の利便性やにぎわいの向上を図ります。</p> <p>・大目標 内外が交わる結節点としての優れた特性を活かした、にぎわいの創出 目標① 山口県の玄関としての快適かつ個性的な都市空間の形成 ② 新山口駅南北の一体性の確保の促進とたまり空間の創出 ③ 新山口駅を中心とした交通結節・アクセス機能の強化</p>		
計画の成果目標(定量的指標)	<p>・新山口駅における日当たりの乗降客数を14,730人/日(H20)から16,300人/日(H26)に増加 ・公共交通機関の乗り継ぎの利便性等の満足度を53.4%(H21)から64.0%(H26)に増加 ・駅南北間の通路における日当たりの非鉄道利用者の通行者数を1,991人/日(H20)から2,240人/日(H26)に増加</p>		
定量的指標の定義及び算定式	<p>新山口駅における日当たりの乗降客数を調査する。 (日当たり乗降客数の増加率) = (評価時点の日当たり乗降客数 - 当初の日当たり乗降客数) / (当初の日当たり乗降客数) × 100</p> <p>公共交通機関の乗り継ぎの利便性に関する市民アンケート調査により、満足している人の割合を算出する。 (満足している人の割合) = (満足・どちらかといえば満足・普通)のアンケート回答者数 / (アンケート回答者全数) × 100</p> <p>駅南北間の通路における、非鉄道利用者の日当たり通行者数を調査する。 (日当たり通行者数の増加率) = (評価時点の日当たり通行者数 - 当初の日当たり通行者数) / (当初の日当たり通行者数) × 100</p>		
	定量的指標の現況値及び目標値		備考
	当初現況値	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)
	14,730人/日 (H20)	15,000人/日 (2%増)	16,300人/日 (11%増)
	53% (H21)	60%	64%
	1,991人/日 (H20)	2,100人/日 (5%増)	2,240人/日 (13%増)

事後評価

実施体制・実施時期・事後評価

実施体制	実施時期
山口市社会資本整備総合交付金評価実施要綱に基づき、「新山口駅周辺地区」都市再生整備計画事後評価委員会の評価結果を踏まえ事後評価書を作成。	事業完了年度
	公表方法
	山口市ホームページに掲載

1. 交付金事業の進捗状況

全体事業費	合計 (A+B+C)	8,971 百万円	A	2,279百万円 (内提案事業分5百万円)	B	6,357 百万円	C	335 百万円	効果促進事業費の割合 (A(提案分)+C) / (A+B+C)	3.8%
-------	---------------	--------------	---	--------------------------	---	--------------	---	------------	------------------------------------	------

交付対象事業

A 基礎事業				直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象							H22	H23	H24	H25	H26			
A-1	街路	一般	山口市	直接	山口市		(都)中領新山口駅線(表口駅前広場)	広場面積A=5,900㎡、道路延長L=310m	山口市						1,295		
A-2	街路	一般	山口市	直接	山口市		(都)新山口駅前田線(新幹線口駅前広場)	広場面積A=7,200㎡	山口市						211		
A-3	都市再生	一般	山口市	直接	山口市		新山口駅周辺地区都市再生整備計画事業	A=1.6ha	山口市						520	別添	
A-5	住宅	一般	山口市	間接	新山口駅北地区市街地西側開発準備組合		基本計画等作成等事業	面積0.5ha	山口市						3		
A-6	道路	一般	山口市	直接	山口市	市町村道	改築(一)中領長谷線	L=340m	山口市						250		
										合計						2,279	
B 関連社会資本整備事業				直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象							H22	H23	H24	H25	H26			
B-1	鉄道	一般	山口市	直接	山口市		新山口駅橋上駅舎事業	駅舎橋上化	山口市						6,257		
B-2	鉄道	一般	山口市	間接	西日本旅客鉄道株式会社		移動円滑化施設等整備事業	駅構内バリアフリー施設整備(エスカレーター5基)	山口市						100		
										合計						6,357	
C 効果促進事業				直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象							H22	H23	H24	H25	H26			
C-1	施設整備	一般	山口市	直接	山口市	その他	新山口駅表口駅前広場	広場面積 A=1,500㎡	山口市						155	結環	
C-2	施設整備	一般	山口市	直接	山口市	その他	新山口駅新幹線口駅前広場	広場面積 A=2,400㎡	山口市						70	結環	
C-3	施設整備	一般	山口市	直接	山口市	その他	新山口駅表口交通広場	広場面積 A=3,700㎡	山口市						110	結環	
										合計						335	

2. 事業効果の発現状況、目標の達成状況

I 定量的指標に関する交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 駅前広場や南北自由通路が整備中の為、乗り継ぎ満足度や南北間の通行者数の向上に至ることができなかった。 新山口駅橋上駅舎事業や移動円滑化施設等整備事業の実施を通じ、駅施設の一部ではあるが利用環境が改善された。
---------------------------	--

	定量的指標	従前値	目標値	実績値	目標値と実績値に差が出た要因
II 定量的指標の達成状況	指標① 新山口駅における日当たりの乗降客数	14,730 (人/日)	16,300 (人/日)	15,088 (人/日)	交通結節拠点整備が事業中であることから、従前値からの改善は見られるものの、交通アクセス機能の強化・利便性向上とそれによる乗降者数増加という当初期待した効果が事後評価実施時期までに発現されなかった。
	指標② 公共交通機関の乗り継ぎ満足度	53 (%)	64 (%)	53 (%)	交通結節拠点整備が事業中であることから、南北間の新たな往来が誘発されず、駅南北間の歩行者交通量の増加という当初期待した効果が事後評価実施時期までに発現されなかった。
	指標③ 駅南北間の鉄道利用者以外の通行者数	1,991 (人/日)	2,240 (人/日)	1,845 (人/日)	交通結節拠点整備が事業中であることから、交通アクセス機能の強化・利便性向上という当初期待した効果が事後評価実施時期までに発現されなかった。

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況(必要に応じて記述)	<ul style="list-style-type: none"> 新山口駅表口駅前広場整備について検討する市民ワークショップ参加者の中で、駅前広場の活用・運営・管理まで見ずえた主体的な検討がなされ、駅周辺のまちづくりへの参加意欲が醸成された。
--------------------------------------	--

3. 特記事項(今後の方針等)

- 引続き次期計画において、駅前広場や自由通路などの交通結節拠点整備を継続実施することにより、快適かつ個性的な都市空間の形成、駅南北間の一体性の確保の促進とたまり空間の創出、交通結節・アクセス機能の強化を図る。
- 小郡都市拠点の形成に向け、交通結節点整備に続き駅に隣接の大規模遊休地を中心とした都市機能の充実と新たな市街地の形成を図る。

都市再生整備計画 事後評価シート
新山口駅周辺地区

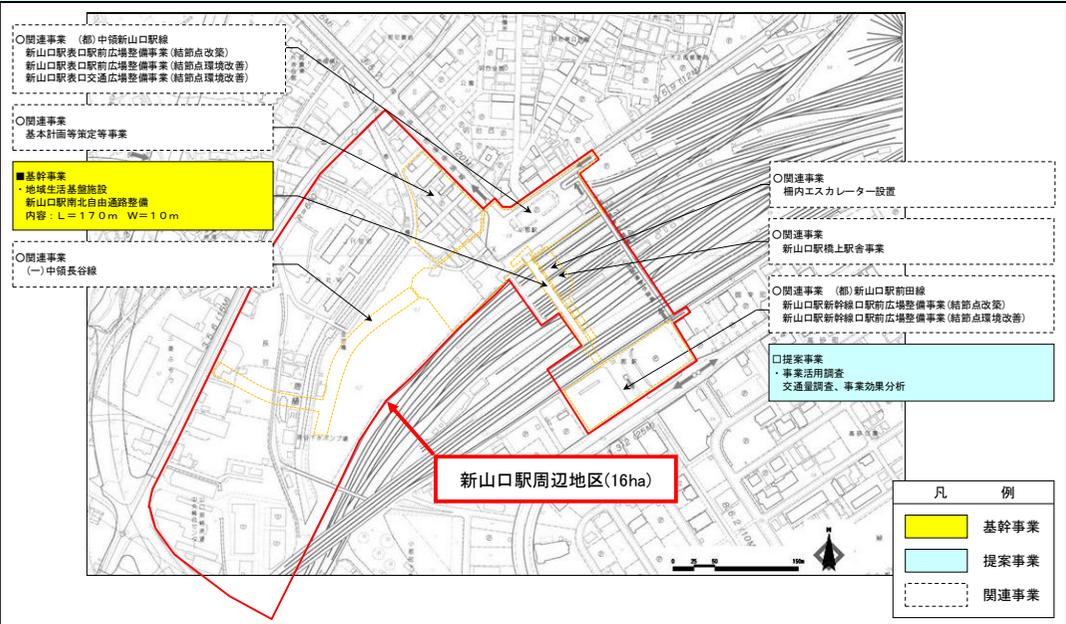
平成27年3月

山口県山口市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	山口県		市町村名	山口市		地区名	新山口駅周辺地区			面積	16ha			
交付期間	平成23年度～平成26年度		事後評価実施時期	平成26年度		交付対象事業費	520百万円	国費率	0.4					
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	地域生活基盤施設(新山口駅南北自由通路)										
			提案事業	事業活用調査(交通量調査、事業効果分析)										
	当初計画から削除した		基幹事業	-										
			提案事業	-										
	新たに追加した事業		基幹事業	-										
提案事業			事業効果分析		事業効果分析を実施することから、項目を追加			事業活用調査の追加であり、成果目標・指標の変更はない。						
交付期間の変更		当初	平成23年度～平成26年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-							
		変更	平成23年度～平成26年度											
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
	指標1	新山口駅乗降者数	人/日	14,730	H20	16,300	H26	モニタリング	評価値	15,088	△	あり	交通結節拠点整備が事業中であることから、従前値からの改善は見られるものの、交通アクセス機能の強化・利便性向上とそれによる乗降者数増加という当初期待した効果が事後評価実施時期までに発現されなかった。	平成28年7月
	指標2	駅南北間の歩行者交通量	人/日	1,991	H20	2,240	H26			1,845	×	あり	交通結節拠点整備が事業中であることから、南北間の新たな往来が誘発されず、駅南北間の歩行者交通量の増加という当初期待した効果が事後評価実施時期までに発現されなかった。	平成27年11月
	指標3	公共交通機関の乗り継ぎの利便性等の満足度	%	53	H21	64	H26			53	×	あり	交通結節拠点整備が事業中であることから、交通アクセス機能の強化・利便性向上という当初期待した効果が事後評価実施時期までに発現されなかった。	平成28年4月
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
	その他の数値指標1	駅前広場整備に対する期待度	点(5点満点)	-	-					4.43			駅前広場の整備により、鉄道とバス、タクシー、一般車両の連携など交通アクセス機能の強化とそれによる利便性向上について、市域内外の方の期待度が高いと確認できる。	-
	その他の数値指標2	南北自由通路整備に対する期待度	点(5点満点)	-	-					4.49			南北自由通路の整備により、南北の往来の利便性や回遊性の向上について、市域内外の方の期待度が高いと確認できる。	-
	その他の数値指標3	駅周辺のにぎわい創出に対する期待度	点(5点満点)	-	-					4.22			交通結節拠点の整備を契機とした駅周辺地区の活性化やにぎわいの創出について、市域内外の方の期待度が高いと確認できる。	-
4) 定性的な効果発現状況	・新山口駅表口駅前広場整備について検討する市民ワークショップ参加者間で駅前広場の活用・運営・管理まで見えた主体的な検討がなされ、駅周辺のまちづくりへの参加意欲が醸成されている。													
5) 実施過程の評価			実施内容			実施状況			今後の対応方針等					
	モニタリング	実施なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた			-			-					
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した			-								
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			-								
	住民参加プロセス	新山口駅表口広場づくりを考える市民ワークショップへの開催	都市再生整備計画に記載し、実施できた			-			● 市民の積極的な参加を得ていることから継続してワークショップを実施するとともに、今後は市民や民間との連携による駅周辺のまちづくりの推進、交通結節点の各機能等の運営管理についても取り組みを進める。					
都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した			-											
持続的なまちづくり体制の構築	「新山口駅北地区重点エリア整備方針」に沿った民間主導による機能導入の促進	都市再生整備計画に記載し、実施できた			-			● 重点エリアにおける基盤整備の早期事業化・完成に努めるとともに、官民連携による開発を誘導する施策の展開を図る。						
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した			-									
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			●									
	新山口駅表口広場づくりを考える市民ワークショップへの活動開催	都市再生整備計画に記載し、実施できた			-			● ワークショップ等において、市民や民間との連携による駅周辺のまちづくりの推進、交通結節点の各機能等の運営管理についても継続検討する。						
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した			●									
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった												

様式2-2 地区の概要

新山口駅周辺地区(山口県山口市) 都市再生整備計画事業の成果概要											
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値			
大目標 内外が交わる結節点としての優位な特性を活かした、にぎわいの創出 目標① 山口県の玄関としての快適かつ個性的な都市空間の形成 目標② 新山口駅南北の一体性の確保の促進とたまり空間の創出 目標③ 新山口駅を中心とした交通結節・アクセス機能の強化		新山口駅乗降者数	単位:人/日	14,730	H20	16,300	H26	15,088	H25		
		駅南北間の歩行者交通量	単位:人/日	1,991	H20	2,240	H26	1,845	H26		
		公共交通機関の乗り継ぎの利便性等の満足度	単位:%	53	H21	64	H26	53	H25		
		駅前広場整備に対する期待度	単位:点	—	—	—	—	4.43	H26		
		南北自由通路整備に対する期待度	単位:点	—	—	—	—	4.49	H26		
		駅周辺のにぎわい創出に対する期待	単位:点	—	—	—	—	4.22	H26		
 <p>表口駅前広場(事業中)(関連事業)</p>  <p>表口駅前広場(事業中)(関連事業)</p>  <p>構内エスカレーター設置(事業中)(関連事業)</p>		 <p>新山口駅周辺地区(16ha)</p> <p>凡例 ■ 基幹事業 □ 提案事業 ○ 関連事業</p>								 <p>南北自由通路(事業中)</p>  <p>橋上駅舎(事業中・外観)(関連事業)</p>  <p>橋上駅舎(事業中・内部)(関連事業)</p>	
まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・移動円滑化施設等整備事業の実施を通じ、高齢者・障がい者等の利用に配慮した駅施設の利用環境が整備された。 ・継続して取り組むべき課題として以下が挙げられる。 <ul style="list-style-type: none"> 一駅前広場等の整備による県の玄関としての魅力的な空間の形成。 一新設南北自由通路の整備による駅南北地区の移動性向上、たまり機能、休憩機能の導入による回遊性、快適性の創出。 一駅前広場、南北自由通路の整備による交通アクセス機能や乗り換え利便性など交通結節機能の強化。 一情報提供機能の充実による駅利用者、来街者の円滑な移動の実現。 ・新たにに取り組むべき課題として以下が挙げられる。 <ul style="list-style-type: none"> 一小郡都市核の形成に向け、交通結節点整備に続く段階的整備の第2ステップとしての市街地の形成。 一駅を核とした周辺地域へのにぎわいの波及、まちとしての一体性の確保。 一駅舎から駅前広場、駅からまちへの移動においても快適に移動できるような交通結節・アクセス機能の強化。 										
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	駅前広場の整備を引き続き推進し、県の玄関としての魅力的な空間形成の早期実現を図る。 新設南北自由通路の整備を引き続き推進し、駅南北地区の移動性向上、一体性の創出を実現する。 新設南北自由通路の整備と合わせてたまり機能、休憩機能を導入し、利用者の回遊性、快適性を創出する。 駅前広場、新設南北自由通路の整備を引き続き推進し、公共交通機関間の乗り継ぎ利便性の向上を図る。 駅舎内だけでなく、駅舎から駅前広場、駅からまちへの移動においても快適に移動できるような空間整備を図る。 公共交通や観光情報等の情報提供機能の充実により、駅利用者、来街者の円滑な移動を実現する。 小郡都市核の形成に向け、交通結節点整備に続く段階的整備の第2ステップとして、市街地の形成に取り組む。 回遊ネットワークの形成により駅から周辺地域へのにぎわいを波及させる。 駅周辺を含む新市街地における一体性のある空間形成を進める。										